

## 「ひまわり9号」の待機運用の開始について

平成28年11月2日（水）に打ち上げられた静止気象衛星「ひまわり9号」は、静止軌道上で機能確認試験を行っていましたが、所定の機能確認が終了したことから、平成29年3月10日（金）9時（日本時間）より待機運用を開始することといたしますので、お知らせします。

これにより、世界最先端の観測機能を有する「ひまわり8号・9号」の2機体制を確立し、平成41年度までの間、安定的かつ持続的な気象衛星観測を実施してまいります。

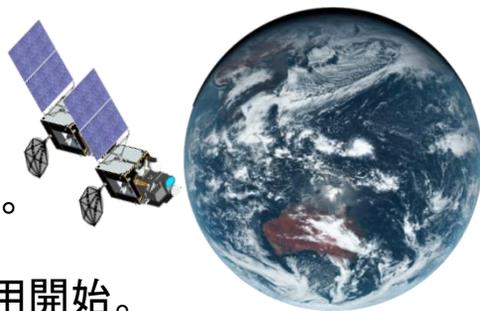
（ご参考）

ひまわり9号の初画像については、以下のページでご覧になれます。  
[http://www.jma-net.go.jp/sat/data/web89/himawari9\\_first\\_image.html](http://www.jma-net.go.jp/sat/data/web89/himawari9_first_image.html)

【本件に関する問い合わせ先】  
気象庁 観測部 気象衛星課  
03-3212-8341（内線 2273）

## ■「ひまわり8号・9号」

- ✓平成21年度、衛星の製造に着手。
- ✓「ひまわり8号」は平成26年10月7日に打上げ、平成27年7月7日に運用開始。
- ✓「ひまわり9号」は平成28年11月2日に打上げ、平成29年3月10日に待機運用開始。
- 平成34年度に8号と主観測衛星の役割を交代する計画。
- ✓気象衛星は運用系と待機系の2機体制



(年度)	H21 2010	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	
ひまわり8号	衛星製作			打上げ																		
ひまわり9号																						

観測寿命はそれぞれ8年以上(運用7年+並行観測1年)

## ■「ひまわり8号・9号」の観測機能向上

	解像度の向上 より小さな気象現象を捉えることが可能に！	観測回数の増加 より詳細に天気の変化を捉えることが可能に！	観測画像の種類増加 これまで見えなかった現象が見えるように！	
ひまわり7号	 可視 1km 赤外 4km	 1時間に2回 (全球1回、北半球1回)	可視光観測  1種類のため 白黒画像	赤外線観測  4種類
ひまわり8号・9号	<b>2倍</b>  可視 0.5km、1km 赤外 2km	<b>大幅増</b>  1時間に全球6回 (10分毎) 日本付近及び台風周辺は 2.5分毎！	<b>大幅増</b>  3種類になり カラー画像の 作成が可能に！	
			 新たに近赤外線も 含めて13種類に 今まで判別が 難しかった現象の 観測が可能に！	